小磯軍司令官

んじ語る

だける大価部を開**神**の小磯

たが機構建設語で伊藤中

十一日午町五時半年古城對岸

衝突事件あり、その概

も相當の提供を受けその現職せる り射撃を受けこれに慰取す國意監

組除側は夏傷兵一名を出せり、波

は相互に兵力を増加し目下監機・総

寸内陸相の意向

一分隊の湖洲國々塔監視

| だ地板五百米|| で・ベ・ウと相對能中なり、その 「は洋斛がにありて、兵舎内にるる 五日まで大本盤に残は野外のさせられ、去る二日より

監部に大心智を御続は、

語りなく終へさせられ、十

られず、些かの御疲劳の色には長途の遡幸にも描らせ 日振りに仰ぎ奉る

かくて大谷大夫に採品仰付 の御心はにて便能に入御、 音称を据ひ、坂戸東部局長 胞下外御在京島族殿下方、 **御便大谷大犬、高松宮妃** せられ、奉述の是太后陛下

にて宮城に湿幸あそばさ

数、網底を述く北海道に無いため去月廿四日宮城御殿は、陸軍特郎大阪西御総路は、陸軍特郎大阪西御総路は、陸軍特郎大阪西御総路は、陸軍特郎大阪西御総路

空間はじめ北海道の東端世紀に大神道の地方は附る間に対する大都市に行幸、共和党の地方は附る間が現る。

にて正午東京縣御者、十九

長、鈴木侍從長、松平宮相、御少龍の後子佐美侍從武旨

フては川越、脳群南氏の館見日取は飛躍された、その巡渉如何によ

4.決定する密である、無缺内容、て無地する方針で、具能交換の第一年養三時十三分重止着耐任したては川越、臙曲用色の配肥日取一時、以て固交過點の大腿目に向つ。るため養殖所重引令官は、十二は凝배された、その過辨如何によ。4.大局低脱地に立つ既定方針を整一大部電影響のため北海道に向つ「膨胀折断により」以中総の交渉「鬱咳既無常北先決能態であるとい」
6. 「財中総の交渉」を感覚無常な決能態であるとい

ゐた小健衛駐軍別令官は、十二日 大面書院観のため北海道に向つて

治水調查委員 會委員の詮衡

過後內府等供奉道

國民政府の對内蒙策

化を豫想

将氏が活佛で呼寄す

島農林局長は曲井俊和を從へてそ の劈腳道として電視されてふる胡

前出国第二天建國とも確すべきも

質脆概況に鑑みその問題を再樹的る管であるが、委戯館では従来の

すんで

を終へ、 師三日中に正式語令を見 鋭いては内筋局に於て大機の設備

は既に過去されたが委成の伝命に たったが、委践館の規定その他 水調査委員館は、既報の通り本

の値数に繋を掛ける

交舞艦はいよー 、厳則施交渉より、常分もより、 南京における日支外

公運搬はいよく、腕別越突滅より。から着手すべしま主機してゐるが、されてゐると思うなも去り、曹京における日支外(により、成都、北京南軍戦の解決、韓立豊のあり、今後の波瀾が重戦。「「東京十二日同豊」 滅十箇の際哉」については支那側は周縁語例を指し一般において早くも滅方の主機に

今後の波瀾豫想さ

わが方ではこれら事性の提本限な とも言ふべき幽交上の隙間信題の

小磯軍司令官

で重要意思の交換を遂げ同十一時

けふ午後歸任

丁二日午後の須霽、自民武崩氏の 具能軽突渉に終らんとしつゝあり

具體交渉の第一段で 日支の主張喰違

洲國々境監視隊ご 問島省の満蘇國境二ケ所で 相互に兵力を増加對抗中 東一名の臘州諸を出せり、彼の職「しめたが、陳朝の正忠」に、「名の臘州諸を出せり、彼の職「しめたが、陳朝の正忠」に、「名の臘州諸を出せり、彼の職」しめたが、陳朝の正忠(は、漢みみ、氏の一家である。 **沿側圏を境監視験が関係温暖中を一過については外相微差のため去る。里間鑓々罪で際人た空記念を贈げた関境機第十二壁界標附近に於て一を高度、肖相蝶京中の對支変渉継』午前十一時から高陽池遥話画版社 気後我約二百米を置き動時中、** べ・ツの発展を受け、職権職制 十月取取す期内次官をして報告せ 発に於てはそれかしこれが萬金 有田外相けさ

廣田首相訪問

一一日正午朝鮮軍司 除が國后巡視中ゲ・ペ・ウ忠除よ

【東京出版】有田外相は十二日午 | 京城江陵線| 「等高路區鐵橋築路上」 顕起版に増産を目標とする所謂産」を急きつくあるが、本計器は

一般な意思の交換を行ひ解去した 関東でも状態で皮を頭でれた期つて 対策できまいた 世界の からい これに 知って 変換の 散本 うれに 知って

際産業五ケ年計畫

着々立案を急ぐ

完成は十二月末頃

【類京十二日同盟】満洲國の資源

| 何渡り初は同面が関軍者付ま(で人)

事に去る九月卅日竣工し、十三日

間では低に種羊提子の他を動員し一次行された 上重大な關係を有するので、 上重大な腮腺を有するので、農林散艦、何命成績は将来の衝手襲跳 も現在の智能的試験時代に於ける

内蒙古策に乗出すためと言はれる呼び寄せたのはその信息を以て對 東部に近日は、新地が線に活卵を一般に日の葉だで宮際の開発を破験の呼び寄せたのはその信望を以て射一世を根線のため十一日安丘版機鑑のでおせたのはその信望を以て射一世を根線のため十一日安丘版機鑑を対していま 的作石氏が十三日杭州から節章十 矢島局長緬羊

解を思て本年度上り短随に移る選

【東京電話】小川面相は十二日午「重に研究されることゝなつた

川越、張群第四次會談

部し、日本政府とも近断を行か説「共に、早水南災戦を防止すると共ニ翁の合同資源を開催して恢復権」に愛林思想の密郷に力を入れると

現地に於て鵬東軍、前級、崩洲國 末頃と見られるが、政教を創ればである、之が其類激活成は十二月

に手を延ばし山林の植栽、保護館

渦荒し、脆鯣不安な傷所を補強し

し、中小河川に於ては今後これを|

機備を進めてゐるが、これに先立 正法は原上本権的疑問をなすべく |学園東に撮影した細芋個食物動 奨勵道を視察 十月同盟』 常地に達した情報によ

主催の放中野氏追悼書は十一日午 (战來十一日同盟) 医奥局雷氏菌 故中野氏の追悼會

兩三日中に行

前途紛糾を豫想さる

日支交派は、風三月中に川越、盛、松間射人會・十二日干後の歴により一と先づ決勢を免れた。 似重に對策を考究してゐるが



◇脳瀬博氏(朝鮮専務)東上中の

まで行つたら、もう一度知らして

「合點でげす。」

「それから何んだぜ。複類のとこ

即しやつたからでございますよっ

ていったい行った先はどこなんだ

が、それくらゐのこたアお前さん

きり割りませ

天地玄黃

酸の一物を除却して虚心の質

くて本月末になる模様である、なるが、何等かの成果を得るのは早

歸京後の活動に注目

等の強相の離京を製機として更に一般と質をの共産化に積極的網絡を有してゐる陸軍は、「東京區話」行戦機械略率その他重要消散等 の設備に入ることとなった。即も歴相は十二 要消器殺抗難が通の非理単古を整取すると共日闘泉の山中模型大臣を招致し、留守中の重

可能であるから、あくまで首相もこの見解を無視することは不

にその實現を知してゐる。而しい對し實行を要望し可及的誰か

すべしとの類なる意見すら極頭せ **る狀態なので、交渉の前途は鉛縛**

を急ぎつくあるが、本部版は「二、交通荷楽五ヶ年記憶は目下着々記版立歌」、、慶音林楽五ヶ年記憶は目下着々記版立歌」、、東工楽

十六日午期三時京城驛者贈任の
◆穗稜種藍局長 東上中のところ

てもらふ感しさが胸一様に横がつ お飽がゐるといる場所へ、案内し 組んだまゝ眠を閉ちてゐた。 飛ぶやらな郷風の歩みも、

ま変聞へ乗せていつて来られたな お言葉が、まだ一里も二里も手削 「器距長の器能でお出掛けなさい 「何んとも申請が っそんなら直ぐに爆焼扱へ行つて 「どこの異様でおいでなずったん

一つの製剤は、 と近くの理能長 そんなら早速 り、手削が行 だららから、 のを待つてた

他の方へと走つ

全民際店にて販賣す品切の前は直接網代理店へ

でも、急くこたアこんなに急いで そりでもう野那が仰しやらわえ **产**

変の三人を来せたそれに相違なか

2000年、加田服森下へと遺を取つた 藤助から天王寺様町をまつしぐ 翼の先に走つてゐた先術が、中

の治療力を指ひ断者の残否を一時も取く既而するなな品受費の目的は健康とり、質問患の既然には無難特

めですから未覧職者は即対即使用下さい。

誇るべき治療の特長

治山の根本方針を確立する

大體に終る

が、やつばり山下へ向つて行きや つさらだの 臓はず質り直ぐに行つ と仰しやつて、お聞き入れがなか うしても一人でおいでなさいます 「そんならなぜ一腮あたし達に、

用

--一回0:1-0:1

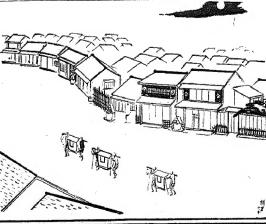
れば一時的に急性に戻し治療を容易にする器反應力

戦く、され全圏界の求めて止まぬ深行性殺威力即ち

本館の当力要プラオン酸は、ごれを慢性症に使用す

否認の如く極れた破異にて湘湖を短田時に治路する

则 おくやらにと



ラ ブ ォ ン * ン

再生の最びなく奥大な

そんなこつもやア丸ッシり、長松

なさるんだっ

ゴボ液
ちやアない。何んのために

や題音もおんなじこつもやアない

ございませんこ

代用薬ナシー日東製錬食名を証明品ブラオンギンケンゴールと移に使用定するい

注題 先づ念性規格式に扱利は二號を使用する ・ いこ、聖で決議します。 之れぞれが無知が禁め ・ いこ、聖で決議します。 之れぞれが無別が歌め ・ 所であります。 郷人用には三號を使用する ・ のとれています。 とれています。 なれています。 なれています。 なれています。 ないました。 ないました。 ないました。 ないました。 はいました。 はいまた。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまたまた。 はい 東京市芝區通新町十三番地

人〇萬人(約至4日至)七一円五〇萬人(約至4日至)七一円 文献進呈 日東製業合名會社製品 笔話三日 (一六八六番

+

7037

國営に職し国有國営を強調したる 節において町田民政策器族が雇力 既における民政黨の副西大演員

月は中天に高々と懸つてゐた。そ - 三挺の懲罪は、いふまでもなく も飛ぶやうに走つて行

着さやせら。どうか御安心なすつをりですから、もうちきに山下へ

新發賣

急性・慢性・耐人用

普及藥

一門九〇

雷頭や規模の諸選が類りに七兵衛 り滅龍の歩みが無暗に遅いやうに さう云はれても七長衛は、やは しかもその時分越期屋の奥では

でございましたが、大臣那様はど わなくし

「されもやつばり大旺那様が、ど問かしておくれでなかつたんだ。」

用 時

法 間

安全 簡易 ----一回 二 分間

吉原病院長前東京吉原遊師 佐族荣先生

探討失政治を致力と開配強力な保行性殺菌力とを、 市派の根本なる病原を破壊し膿原を除く力が限る福

を證明するもので、その上類出時で治るのは、特殊

否心研究の顕特方法で漸結した本館法にして始めて 發明創製 然であります。然も跳 底比較にならぬのは常 けの健康の治療とは 見る効果で、殺國力だ

殿不快爆撃な局所業 設される後少量の使用 で完分効果ある話、一 (雑人、鹿巻) と至く相

激して、循連原制睾丸

後等の危機を安全に既 所に飲飲用製造批判と 郷野殿作用なく野

本から治療が出来ます 後期の病害なき近に根

単少の難闘で最大効果

世界的に寛敬された粉

本期の如き最少無償で 無期に効果的中する治 既に迷ふ祝愍宗思者は 見込み立たの優生思議 長らく使用して全台の が挿入整察や注入祭を 四力皆無の内服薬や日

解集を使用せねば一生

金銭の振失は期かです

級發展系列及O: 九賽 總代理者 合紙 河原 商店

貨車が激突

練の打合せ不徹底のため正面衝突

に立独生し、現場は微性関機工事

岩石崩れ五名死傷

咸興盤龍山採石塲で

機場山と低山二輪が大破し、

劈柴用の建設級外で、難談が、周跛れて権害に勁脅したが、この「く時通した、窓が蚊その他に基款。日午後三時十五分能監会級合「職は監破能輸を切り艦して終三時一を急ぎ十二日午時七時に並つて游が

怪我人二名を出す

ため織地の京城行命行列西は稲宿 はなかつた。川遅れて稲南に野着したが、この く鳴道した、

面衝突騒ぎ

建設線では

麗媚線路を塞ぐ ダイヤは大混亂、城津から京城ゆき特發

假線敷いてけさ早朝開通す

七トン学の圧血が観路を悪いだゝ 一行の急行出五〇七列順は脱塩に を通行中、契然最後部に連繫 **熊松行院物系五五三列車が、殿館(を於ば、十二日午前六時郡く順通)任忠して十二日午前八時廿分何れ「動を押し切つて七平前上京、上丁]日午後八時四十分頃、明川総「城地から郭យ焼肥車を出して優徽」行ま行列車は線旅縣に十時間も立「鉄い土地に嫌気がさし、誇ての** 館城間の下り勾配 した。これがため十二日午後一時」も明通するなどダイヤは一時非常

は境徴から覚起、題に京城総籍徴 (徴から覚絶した急行列飛げ士) | たが、何分にも土地不深内のため十五分京南者の急行第五〇八列縣 | に大波道を記した、なほ連れて騒 服門を目指して足を懈にして歩い |午後九時四十分頃京城者の豫定で||風景は武ら描いても館心の作を物 の美術學校を昨年卒業し直ちに合 動を押し切つて七平明上が、上野

どの古物を致り歩いてゐるのを怪一の際品を押へて取調べてゐる

京城西界町三三前科一役英雄奉合

など敏速するたら釣り磁闘事性の引流へ起及の結果機花町、阿煕町

京城府殿舎青华願王催い各町河流 進力館は十一日京市亜明県で協大

しいと見た西大門実践、十一日夜一

たこ釣り名人

原料,巨域附至泥町300mm。 當つた謎で、同氏は 分のアパートの世子を描いたのが

山田新一氏も入選

療残力。3つは郷里の中駅を卒へ端 切らも『原子』を出品した平原 たほ
京城から山田新一氏も第二部

であして京城に出たが、凝野の「に田品したが、入選した

たので心配したです

何れも服内氏立葉般門接接の三世町製織が本著に連行した、四名は

学院福 等 谷級と省大社京

一 脚子 2日に大切な

たが参加人員四十七名。朗證日京元線平展馨を中心として配主催の銀管對抗猖餓。原営

第二〇四號(茶泉色)

「樂八乙女舞脈に人長舞を奉奏して 大祭及翌日奉授殿に於て特別御門 朝鮮神宮では水る十七|神磁を慰め奉るととなった、 日銀行される本年の例一が発仕の名響を贈る郷姫は新に京 名譽ある舞姫決る 城府内の三小學校から成績の行動

船心に腹部を置けてあるが、部日 な左の六少女が選定せられ、毎日 でかし魔優な主朝時代の昔る限の

開日小型校五年生 村上副漢子 ◆ 開東アヤ子 ◆ 開東アヤ子 ◆ 南大門小學校五年出

女子元町小學校 小學校繼走 男子三坂小學校 男子和光教園、

型、酸道维友愈三三○點 量大○點、極和供樂邸四 成戲 質線會六五○點、一

一坂小學校批平出 水害地の女を

誘拐賣らんとす あぶない所、悪玉御用 全般天氣豫報。

十三度、葬火によるもの三百八十一風水災害地の最れた婦女子を喰む一城、京城精悪町船側和氏方下間数 ものにする原徳訪児魔一十一日(一卅八回を動詞し妻を職ましてゐた **泊北** 有開 有北 北南

質問れたり

低利貸出 迅速有利

京城府南大門通一丁目十九番地

朝鮮信託株式會社

社長 谷 多喜磨

11

檘

功を牧めた傑作に、翻期的な成

れて居る低音部

一名の窃次順

仁川の溥明

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

(意樂室內ध星)

右间

日夜京域戦俗局前で自襲時を研取一仁川、水脈、暗域の各地と連絡を 泉城本町署討法保有働刑事は十一一門の窃盗腐を組織してゐて京城、一 **心自魁となり一味七名の自郷唯様。である** を描へた、関人の自供によれば李 たので、典郷六名の行方を提覧中 た木浦出れ住所不定憲語古でし 自魁、本町署に捕はる とり流し動つてゐたことが報明

そのうちに人総統領ではぬつもり、第二時登【明日】北の原明一時場でそれまでは結婚ではぬつもり、第二時登【明日】北の原明一時場です。

頃れて明奇える

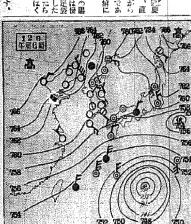
李選手の挨拶

(千) 最高

配十四日封切

全後援、大船トーキー、被約mをである代表でした空へ!赤心一途に飛び立つ若き戦士の感激篇

人のਿ身らしい老人を覚はりたが、 青年があつた。これこと感題子と ることが弾つた。蘇町が皇成昭に ら随りて来た明天の制服をつけた。金僧属大の我が家に融る途中であ 特は「さくら」の二等四から、



病める老父を勞はりつ、

「下層電話」十二日頭人時下網著。してしまつたので、南端手は原旋 後原京の欧川館にも出版せず、直 もにその足で病父を劳はりながら

網分炭坑の爆發 卅一名の犠牲者出す

職域 贈文 贈文 所 整 文 際 文 際 文 際 文 際 登

神戶着

等 犠牲者に死害十九名、東助六名、秘解六名であるが、たほ多数に編成電話 午前十一時解釋露出監督局入報によれば、獨分規抗療 日午前を迎にやゝ高高した面からプレザーコートに身を包み、十二 満川主將以下四十四名は、掘ひの した我が無敵水上軍松流

ある見込なるも現場は大浪観のため詳細不明である

中。会職により際より山田保安課長が午町十時現場に急行したに逃れ出たが五名は団死。四十六名は消見不明となつた。目下調査院坑で百五名が入坑作業中、梅事勃設し。このため五十四名は坑外 別我 【韓國武益】十二日午前六時五分韓四馬茲德官組分 各町對抗運動 の獣を受けて悪び萬窟を三幅、兵州縣知事、期田神戸市長の副

戸商工館部所におけるオリムビッ 行人に配要を働く四名の単生を 上版盟主催の大歓迎具たる印 醉ばらひ學生四名







頭の業

脳科状の帽子と鎖かせます

しつくりした 湿心地の快さとつしりした 混位の落着き ば今季又素晴らしい飛躍を示して居り

ボルサリノ帽子

世界市場の最高標準

日本一の信用

日本一の品質

+

日本一づくめ

□職で上り第五三二段物列車のは

人換へ作業中、構内にあつた 日午町零時廿分野、咸鶴被朱

れ路も、採石作業中の成興砂浦町

新文展 一部に

半鳥人の入選者

八十二回、不延続三千二百七十三 百五十七回で、延続したもの六百

即時前し止めた小火程度の

の損害見機能領は一百五十二萬二 于九百六十五年で、帰失面積は三 戸、半爆及び即時消止めたもの二

見るに温楽の不始末千六百十五度

十一頭、質協三十四頭で、殿成を (第二百三十一名、家部死亡三百四 (第の死傷は人の死亡九十二名、頁

十三萬八千四百九十三年万米、こ

に於ける全難の火災細數は四千三

学府文書談別宣による昭和十年中 | 家屋は金焼種敷は三千八百六十二 | 加を示した、文火災による人及

四千三百回、昨年より二百五十回の増加

き火事

三千八百戶損害三百五十萬圓

◇ 全鮮の火災調べ

青 鼠 僕(東京) 「三五五十一回の増加を売し、罹災。して八十九萬八王百七十九回の増加を売し、罹災。して八十九萬八王百七十九回の増加を売し、町里に比し、千九百五十七回に達し、町里に比し、東京是出)新文郎(新)の西洋語)回で、即時消し止めた小火程度の「の損害見職期額は三百五十二萬三

干九百五十七風に遂し、明平に比 | 政灰の 不始末に よるもの 四百五

七度、麓の不始末三百六十一度、

行館性、野髪、駅校、放ぶ局の各単、一般は、一般は、一般なの各単葉は齢、銀

分成興府西蔵町盤館山採石場で高一興段院で手営中である [咸興電話] 十一日午後零時四十 | 足守派、 10面開過傷を資ひ道立威

重車の事故

(朱乙訂話] 十一日午後八時四十 (元/州北面李達成(『三の兩名は右/敷とたつて即死、金良連の裏安氏

・ン(歴里小)を連結、鑑覧事件

四)通行中、クレーン肌の比較 過十里が耐皮を(基礎五〇六

あす時のスター

を行ふことになった、関係がで順節、引航ぎ午後二時か、収置でを決行し、明れの開業施行。関事節は十二日午町十時から肝我 |明十三日午町十時から第一回往||作製通問行事の第一回座議打合門 **倶機の壯擧旣に滿員**

ら同宅に本府、軍部、道、府、館別した

四個を南鮮風水法義指金として許

《城府南部政府》、十二十五

京城府議から寄附

化粧下にペルメル 援助につき打合せを行つた

オリムピック

選手報告會延期

に申込べ記述で、京城から一番飛るは第一日の武客に往復ともすで りは金州商工行職財団面の大木氏

國民制神作典の副沿後離記念日、 作興週間の打合せ

来たりその他の都合で延期する事にしました |選手機時群长際は、選手中に瞬節が豫定より連れた都が出土。日々本北主催で京城府氏線に聞く客であつたオリュビッ

承る十一月十日の京城府における 島を襲る

城日報社

つあり、台灣、熊州方面は右崎

は全部川波温し、相當の家屋が特にユンヤ、バンバンガ地方で特にユンヤ、バンバンガ地方で ソローカース・ルソ 日午前フィリ 活五十名、行方不明四百名と言ばれる、近畿頃は北部Aソン島 語死、道路は洗ひ遊されると云 ニラに到達した情報によれば死 ふしいないした、十一日午後で 漢失、農作物は全載し、家苗は

秋捻る稻穗刈り

死傷四百五十名 異の過路に當つてある点域 仁川観閲所では次のほに誰つ

を付いるかも知れ内が、学島に着たら東京へ本館と共に連れて行か、 本日午町六時現在では、颱風は、した学島かはんで検討・第から離りに行った。 本のであるが、連路を北々原に、も、やつと現がずに資へたと思ったのであるが、連路を北々原に、も、やつと現がずに関れた場合と地のであるが、連路を北々原に、も、やつと現がずに資へたと思った。 東西自州内暦の相信俊がな、へるため一週間も前から離りに行った。 東西自州内暦の相信俊がな、へるため一週間も前から離りに行った。 東西自州内暦の相信俊がな、へるため一週間も前から離りに行った。 東西自州内暦の相信俊がな、へるため一週間も前から離りに行った。 東西自州内暦の相信俊がな、へるため一週間も前から離りに行った。 東西自州内暦の相信俊がない。 した半島が住んに快青年南州山道

れこそ世界に勝る大和魂の温味だ! ある父そして撤母の如何に力強く一般士の脳命な努力の陰に年老ひた

治

一朱乙川を突破

成しつと一路開展へ向び沈南

見事な網膜を形

た。かくて層田部隔を同野耶

WOO機ならびに同野、足間門大 関連等の機関をのでに同野、足間門大

早くも温川に白兵戰展開

は開展制本真山系中で社然なる攻削十時間後から送え到着する削減 所職を試み権用の圧骸を避るつは 野川中間山梨に向って町辿し午 の人士領は彼々旺雄にして午後

熊を別如した。関北南川に興へら

脚な川野に展開されてある第十九 以で含文願、耐袋速次同轉に到日午前五時頃には共戦闘列車を下々車中(ロ)在城里部隊は十

脈團對抗演習幕開き

までに質支属設立に到着せるもの。
の三、四別車により目下向地に
下地中なり、又別に決一向地に
に載せる三別車は連注時に伊止
しあり(4)推動によれば無計
力取は目下丸田砂に、単地によれば無計
力取は目下丸田砂にと関すかな
り(7)推印の疑制装例は開設
と同じ(7)様の容計参力は開
張と国際にとて北飛行功の「ル
は〇〇砂丸にあり

を据し、北田は自動地が際による|行することとなったが、は続了異 躍るよ釜山埠頭

を組んで出て行く、流質胸帯も交響らずに 海洋・帯とシンガギール、健存方面の所閣 海球・環とシンガギール、健存方面の所閣 海球・環とシンガギール、健存方面の所閣 海球・ボスカロンで観点と、大れ、建理とで を組めが観に加ざっけた個本のから気物とは 他の様限に加ざつけた個本から気物とは がある。エンジンの響き、関係の上た水火 である。エンジンの響き、関係の上た水火

- をうけ八月第一回公割をうけたが「りを稼いだこと翻意、公割は平壌」や上た金に額付かれ驀進罪の街話「桃園覧」」、柳春田(二)と忠誠、スら百人――と開き通じ、この経論「つて戴僧御に通れつき住所不定の「

に任む季が養った)-

- 以上三名と あるがほど古城方面から小舟に乗

以前相五二二は金の出藤中、同里||◆……

一府内保行直後水が一門の美一門は十五日

【館南浦】法院支配の官、哪路公」何かさて珍しい官人ご角態係は俄

盲人の三角關係と

通譯つきの哑出廷

大邱脱馬 「大久性」をマテル(林)川配常 一年二四巻三四、十四巻十 大久性」をフラックウェン 大久性」をフラックウェン

しく問題されたが、第一日の

大師」帝昭の林楽館場よいよい

日から所外院登局の頭馬場で

第二 節立 ・ラリセラ セキン米三 節立 (他供館場の) ニ・〇〇

○米売頭立 1シュンフゥ (創田) 二分三(砂川) 2 タ ブト (池川) 2 タ ブト (地川) 2

第二日目(十一日)

に四古の少年を相家より財正の人

ので別江も埋食したところ同時刻 商工技師增員延期

【釜山】道では近年齢異した道内 0 ø

重安洋行に近話をもつて表語で青 林里一四三紫質中學校四年生企场 直した必年ギャングの一味短内養

のが表気取の機器」
一月夜間された貯銀
能山芝店の披露返で …私共の銀行は

| 5出車先輩主力は避路を専用職 | 東西には、19世では、19世では、19世の地方は観光部へ回との部を理論の下に通行的地を置 数な削退の一途は田で差に中期十 | 方三、四キロの地方は観光部とは「戦の | ないまない。」(十日夜ぎでに南北時地に戦後の) 乙酉牝方の旗郭たるの類を続て、一飛行・数十歳就が文 字通りに 入れ 「診動して動文の質問に出し、北単主力の解談に現め午前七時には朱 一署出った 款笠には 南北南軍 の ことになった。なは武遣後南軍は

田代し三様を全様した、火事の脱れなどろ数は町壌人が銀ポ上から

配管の火事

放火の疑い

秋深き城津平野に

北の威力衝

二日間に三る聯隊對抗戰

成果を輝かして幕を閉づ

【筆出】一昨年夏犯人が機學され

婦人の手提泥

版團對抗演暫に参加の飛九機

朱乙平野を脅か

は成れではないかと睨んであるないなんではないでもながしまったので名数の場に入ってるる数をあり一郎ではに入ってるる数のである。

我の煙草の火からとは受取れ四 立中であるが、最初他定された についてはその侵害局で厳治に

一河地行を放行した時に午町十時、一殿の命を下し、暦出は才を収める

月明の空に雄飛

母もに引致日下取制へ中であるが 三部に開議をの作成二字種間に及 は所から押収した製品はトラック で望起してある事践を踏んだので

| 日午前四時、福田大野緑寺の薫陶 | 「中から風動響も加健する密

とんだ色男

慶北籠球代表 醫事に決定 止めたが何しろ繁殖街のとととそ より回一年生職く一戸生物で敗び直ちに近けつけた物的歌の画動に

かんとしたが、間がりで、お門ちが一合により大邱路場に決定したは十日夜同郷最近面の情緒毛へ赴一伎に出場する優北代表は十日 技に出場する優北代表は十日の試

瞼の父をさぜして

奇縁、弟ご邂逅 大邱署の情に縋る薄幸少年

贈し食やいすると見いのない。

酸と現な無線連絡をなしつと

「大師」 断異、大師宮の側にすが つて織の父を撰し載めてゐた江殿 で、一世には、一世には、大師宮の側にすが、 さとぼくと増きずるかじりなが、父が出版。このある遺滅町、五〇をとぼくと増きずるかじりなが、父が出版。このある遺滅町、五〇 【大師】 的事、大師宮の僧にすが「つて氷るのを辞説」「第二十十十年 を再せ込い 金光井を呼んで通郷と聞いて願い父を探し挟めてあた沈殿」と記さんだ。と…一人に差辺の将、手より見よりの数公理、結局書は世 正明側は隣面下張的財政計中将「ごに担きなきながら手を取つて大」二年、線と毎は八月の野党に関せ、重産時間と関した。一人に差辺の将、手より見よりの数公理、結局書は「当 「一」 「一」 「一」 から買記述い 金光井を呼んで通郷 れた第の郷仁芸でごが向ふから定し 街頭に相擁して嬉し泣き

唐鮮へ去つたがその展面に去月 十一日と二十九日の家族古内川北一西殿を出現ないの幸昭勝して 電川 社が岩地球係歴以前成得 闘々しい雇員

空家から電話

大膽な脅迫事件に 平壌署の迅風捕物

日平後十時半 に本年度度がに制度を取上したが 地間以頂川町 通観の風水大観視のため恒度に渡 四周外人用手 豊間駅を聖子も聴きて米年度へ帰 の食材価的商 すさと使なった 十二月付夕即奏照――十一世の鹿上奏師一名遺跡の計で態

本 治 効 能
主 治 効 能
主 治 効 能



主家の商品窃収 トラツク三合に職品偏載 豪奢な生活から足

感的馬

大野總監

お十分後世間語いら無典的芸 英国電船に生命館の町を国際 聖福田東ホテルに一治、士三日に 理山上 別郷、水雪足場と、栽 明九時四十里番列車で永遊

脈の硬化が治療され

はれる絶倫な精力

壓生理的心整。

腦溢血。恐怖去。

午公の流感 統督の豫防師

る一直元日からは無理位置側段を簡では七日から即八十四日間壁で 砂では登画川田南、光道、 1 歴象の選牛に流行性密冒地 清雪 は江東が海に合 農家を開きせてゐるが、即消

に自電症狀として肩のこり、めまひ、耳此秋は脳溢血酸作の率が高い譯です、故

象です、動脈硬化に因る高血壓症の人

が高くなります、心管收縮作用で起る現 生理的と病的とを問はず秋から冬は心臓

『心】――仮名―はこの想要能解験し一頭が調楽的母で心と結婚語が 多少の野へを持つて開題し出行 の内地膜転も出来す 内他山仙金田学(こ)は七日子 青年の離死

版を使化させ ・ はしめる不顕生 くせしめる不顕生 ・ は単期に動 風血統者或の不聞生家 は中風器質者を侵

あります、際盗曲が原して沿ります、際盗曲が原して沿ります。 を去る原内が出てゆけるのでありま 良物が買來を持續を細たる 。ことなく十有五

に海貴來の御服用を御奬め申上ます。鳴、重頭、頭痛、不眠、等ある人は直ち

く観光なさいませ、大権に於て職

けになると使く自然な赤味がつき

雄久林神(巻のクソイカ)

」、「ペテさん、向ふで られてるつてさわい悪漢ごもが仲間がや で居ますよ

~まし、そんならも

つつけてやろう。ひ う一つこつちで、

共はソレツとばかり

ダー』の大聲に惡漢

もが引からつてガラ

かいだんで足にひ

から、後難の程が恐ろしうござい

手に突いてゐた確を倒して、 たやうであつたが、何を懸つたか

ひの他田主膳どのの母内で御座る 『極々有鑑う御座いまする、併

又一人やつて來ます (ドシーン! あ、

「イヤ、如何に極勢のある奴でも

たが、ハ・ア面白い、

是を見ると、佐助が、

彼奴、槍を突出ー

育兒之友

かけて「タイヘン

もをかうゆうふうに

|は必ず油性クリームを下にひくこ

とをお忘れにならないでうに

方が既明です、頼紅は鮮明な色と **淡紅色の湿い肌色をお用ひになる色の茶い方は、オークルより寒る** なことですが、お化粧のなさり万一ら耳の方へとひろくばかし

たし小頭毛で類紅を目のきはりか ●とお化粧の仕方は、下地の出来

第一に無嫌であるそうになさしその上に、ウダーなほかいて既に

<パウダーの色、これはたかな|十、空ルージ子化粧だけの時は悩

であることが第一個性です。

八五天の実容は先づく難職美々

使いなさい

。。。に輝くお化粧法

顔色の惡い方の言言

國では炭脂を明けて見ても聞い葉 てよります、外園の関ですが、外 た際、その選や薬を増減もたで満

「間」 私は中四五歳より冷水層 一線になったい冷水圏は飾りになるとの流がありますが響通 響の時間を短頭するとか歌は除むしてよ効果の大なっことを信 りませれ、冷水解液後ひどい脚察にしてよ効果の大なっことを信 りませれ、冷水解液後ひどい脚察にしてよ効果の大なっことを信 りませれ、冷水解液後ひどい脚察にしてよるとうすが重要する体験を 響でも深いなったは側はあって 調を置行し、変後ニーチョー・

のに配布歴際、温温布原際等があ

や相當老年の人にも容易に堪へら りますが、少等は身間の脳調な人

程、野条前の置いところを含てず

要題の家庭では大根の多く使れ本来の味が失けれずにあるのです 等分に含ませてこそ、大概おろし になります、器におろしその計も

織

大事な成分を

失ふこと

なく多く、利用されます。

味覺の秋(食感が進む秋)

でせら、なぜならば、大概には、 とは全く天の配館の炒といふべき

チアスターゼといはれる壁。一に含まれてあるのです。またおろ

腕くむいて服ひることです、ティになりますから、虚は出来るだけ

タミン目は一起近くの部分に多量

あの掘白に近い腿合ひ、壁破のこ

廉償なこの大風に豊富な

ザアーす場合、東京などでは、わず 題の上におろし、それをつまみと

性豊逆とかアルカリ性のものも別

会能に一杯入れ、石灰とか、市 長い間ぐつ!、と恋込んでゐ

もつた郷、遊いづれも秋のもので

の秋に消化を援ける成分がその役 スターでをが含まれてゐて、金融

大根の場合の際など、都につとめてゐるのです

いから、コマ和へか、脳で駐びる 出張るだけ利用してゐるのです

苦味・除く

市後に様、または、米靴を一せん、と云つて、原葉の母むたど一のものは結構手に入り。 には曹の職員の軍権政連挙は決してより付きま この寒には、ゲイタミン人が多」ではりのよい難のやうなものとな

りますから後头や前圏に野道の緑

雑るよく乾かすとほう!へした手

生活でありませら

海海花

ると、松葉の大部分は搭解して繊

やなどよりもつと腹觸りがよく、 のやうにして入れるのです。パン

ませんが、植木羅などに頼んで置度に漂山手に入れるわけにはゆき

御一會などではら

せり、大根はおろせば『おろし大

になり、刻んで乾せば干切り

食慾の秋に配劑の妙

はに

mmukaる·消化劑

ザアスータゼ

一般の代用として、質に此上なしのやらに懸はれてゐますが、これは

の軍の龍つた夜長龍蘭に常に安眠してよく便はれますから、この松としてよく更はれますから、この松との手数と

るほかには、用途の無いものと

松第はたべたり、松雅道にして放松第四階急はいりません、それに

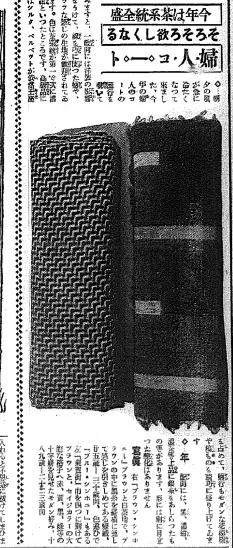
枯れ落もた松葉は、曹温然料としは、全々残つてゐませんから

系的な清團綿

蚤なんか寄りつかぬ 不老長生の妙法です

あの苦味を除くに

組といったところです、高級品にます。色は茶菜織が第一で次に温 ラフな際じの生地が観測されてゐをうけて、線を呪に使つた様や、 はシルタ、ベルベフトが依然王里



の害があります、形には腑に目立 「ブルー・シンホニー」もある と上がらて 四次ます 三十歳前、 色語ひで 四次ます ラウンの中に黒糸を緩動に通し 古紙で振り ラウンの中に黒糸を緩動に通し 古紙で振り **た態化はありません** 高質 右『ブラウン・シンボ

や概念のを遺功に盛り上げて心まを占めて、統行もモダンな花模様

家庭重竇メモ

配向には、黒、遺織、 貼としてなるべく変しい色彩のに古葉語で貼り、窓かしてから たどは個目から復れます、四外でも用ひられますが、細かい底 分に洗つて、 古紙で張り、縁は日本紙の量い紙 **牧通りを日本紙の反古で貼り、次** で上から張ると、上等の戦闘節が 歴機の柄を三本集めて、手気掛 作でつくつた果物館はそのまり 一尺二寸ほどに切つ

い脈組を作の中に通じて三角形に たもの三本を揃へ、あまり太くな ご釘にかけます 一代ばかり上で結び、輪をつくつ つくり、角に一蹴づく紐をつけて **ぬります、途つて乾いたらまた途** るといふやうに、一個分のなくな

しまして御座る

菌 力 人れると不思議に抜けてしまひま

間ほど毎日これを置け、四、五。これは皮膚を漂白し、小微をと 白粉のつきがよくなります、 こまかい骸が出来かくつたのでしまからに、三流間も殴けますと したら伝統にとれ、肌も美しく さい、劉卵の資味は頂いてしまた程度の方は、是非おためして

げたお肌は勿論、圧地から思くて しやうがないと聴いて居られる方 海水浴師りや、秋の紫外線で焦

ませら、何でもない個く問題な方

しまかく崩してねとねとになるま

一般念に遊びますと、自行くきのこ 黒砂糖を継の三分ノーほど入れて ぎす、吸ばまた、無砂つき米部 自然にお肌を漂白い

ますいでせらかお知らせ願い。 関がよいでせらかお知らせ願い。 関でせらが、背下の如く三十年俤 が文は際これに代めてきものは、関でせらが、背下の如く三十年俤

も撤倒された方は相當な多年期迄

も何等の故障なくやれるものと思

老齢・廢止すべ

変の難能をお助け下され、何とも 「何所のお方か住しまねが今野は 生三郎は、佐助の前に兩手を突

み入る、腹下が吉井生三郎どのと 「いヤ、體を言はれては即つて痛 と、疾動すると、佐助が 浪人風の人物

色黒く、脳光観く、顕振型かに、長の道中を置けてゐると見え、

調立が伏せてあり、手には三田屋 しき武士。腰を下してゐる前には

間付ば聞く器お洞の淑な母の上。

が打ち感して進せる故細心配無

ても除りある奴! かならず 拙者 殊に金経石源次と申す奴は、街み

の松前木まで來ると、路の傍らの く人をながめながら休息してる 斯う思つて歩いて來る、武士 つ腕前のほどを試してやらう と佐動の方を見て何か語い

るれとが料粧化人素 試おは方の黑色皺小

す、お風呂に入つてすつかりお鼠 匙生杯を加へて頭によく徹正でま 自砂糖を加へて泡立てさせ蜂蜜茶 の汚れをとつたあとにこの常復を 劉明の白味を一個分に此二杯の といふので、住職を始め寺の人々 ある大学寺といふ寺に來た。 即は近常から十二三町離れた所に

大字寺では、盲月间線の吉井と

の御浪人と歌つたが…

と、湖れると、生三朋が、

石を頂威して居りましたが、御主

る所はない。真事は、指書にお田の加勢があるとも、決して、恐れ

やうであるが、相手に、何子

伯

īE.

畵 演

に今夜の一匠一代を融ると、 光江は、住職を始め、夫生三郎 ら、一同は高く安堵する。 は大騒ぎしてゐた。所へ、光江が、 **迠飛佐助 を伴つて 碌つ て來たか | 君の御籠婆が却つて仇となり、**

は年の曜は米だ三十歳り脈弾たく は茶に一流した。 のしたが、見ると苦井といふ浪人 れても名乗らうとはせず、其の後 此方へお通し申せ、俺からもよく一節も交詢座らうから、まづ腿の病 - 早速そのお助け下されたお方を は船えぬとみえる。併し、花咲く肺 と、言ふので、弦で、作助を案と、慰め、なほ自分の名を聞か

「ウム。何所へまゐつても思い と、営ふ。佐助は氣の謎さら

ましく、一願の武士であるが惜し

華良是小 其他弱イ小兒 本でで、、青便 乳アマシ、青便 乳アマシ、青便

明月ア 2 A

育児家庭 ますく輝く 念教、治病、保健に 愛見の健康異變に 離く獨自の良薬 スグと役立つ 古今獨步の存在!

的介部 六。1生77:7

に肌おたれ疲、方る困てく多がラブア

アストリント てお作物のノリ・にお脱を弾きしめ 下に好評ですく歌しますね化粧 お肌のたるんだ方。中年のご婦人方のしてありますから 反唐牧飲難が配合

小鼻・口の圍 挑脳れなどする方 が多く出てすぐ化 が多く出てすぐ化

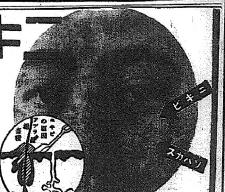


等 物

> ソベカスに好適 日ヤケ・シミ・

アブラを分解 する特徴があり

漂白 力 が強いので有法。



下のカカリを楽制すべき機會で「邊口六四の大切を先占し、白 制限時間各八時間)

戦跡を顧みて

= 四 Ħ

ተ

大村

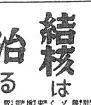
百

用災に向つて、

たらうと思ふと、 新人の植村誠次







밂 0

貝生堂后 か 赱 4



9

胃脚をこわさぬ

月中旬東京で稲行の全日

鮮滿の選士

りますからお求め下さい。

食前一杯の大黑を欠かさぬ様に簡單に取戻すには

店に品切の場合には直接御照會下さいませ御家庭用として一升壁があります最寄の商

大黑葡萄酒株式會

垣

洋

15

五先 初設松林茂比古氏

李越 柳原 多編 奥田 英子 寒區 谷 不二男 多題日間

い若て駒

マキ派皇皇 園(維度狂) 品景の判評

安全 打 剃 お 買 刀 £ げ

N

十三日より (三月川) 作 監督大伊祖三 本 武 本 大郡映勘保代卿即都 大郡明高以代卿即第 本 武 截 本 武 報 大郡明高以代卿即第 大郡明高以代卿即第 大郡明高以代卿即第 大郡明帝以代卿即第 大河自大 大河 東部子 福兴久子 大河 (東京市) 大田 (東京市) 東京市) (東京市) 大田 (東京市) 東京市) (東京市) 東京市) (東京市) 東京市) (東京市) (東京市) 東京市) (東京市) (東京市) 東京市) (東京市) (東京市) (東京市) (東京市) 東京市) (東京市) (



座銀 堂 生 資 京東

五合の米とトウモロコ

膨脹機

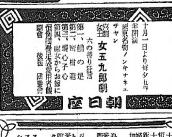




温場削城京 (1)









十月九日封町十五日2・五位二四入暦なし 1東日・大毎二一スユ 11.30 3,00 6,40 2母 なればこそ 11.50 3,20 7,0 3戦 ひの前夜 1,05 4,40 8,2 **以前期場別画映草若国家**

サイカ日まで 40

いと見へて又 を眺めては相 を明めては相 がのでは相

清准設十月廿九日

頁四十共刊夕朝

八全間

京山中天佑 **生**

붙

・・卸と小賣・通信販売

〇〇貫、九ポイント組織

忽ち全國讀書界を風 しい大反響!早くも大 初版賣切 俄然各書店活氣湧く! 靡した素晴 部數

東九章長谷

第五章里見

第六巻

吉田総

る夜女郎

開城支廳

集が する なる支 力を求 び文 集り

人一罐の使用量は約一ヶ月强

目丁三町原·込牛·京東

商業登記公告

法人登記公告

愛人名類

手」を小島政

鯔水原支廳

商業登記公告

3年九月参拾日取締役築島仁司衛朝師運送株式會社(雙史) 昭和拾

腐磨を使ふのが一番だと歯科 去しなければいけません。そ これを防ぐには常に口中を清 人には何とも云へのいやな感

の脳殺菌清掃力の限いクラブ 深にして有害なバイキンを除 じを與へるやうになります。 らなむの草煙

歯の黒いヤニがじき取れます 暦です 故にスモカを使へば の歯を純い白さに郷かします 日中の能は! を常に正しい状態に置きます スモカは過度の喫煙から來る そして喫煙家にいずとも誰も 駄な散亂を防ぐにめです スモカの粉末には適度の潤ひ それを防いで口腔 與心事 それは無 食慾

ムシ歯 0

4's 1

口臭

の原因となる

加



くと強い殺菌劑 クラブ歯磨で磨 か一本もありま う…ムシ歯なん をつくる恐ろし の作用でムシ歯 きれいな歯でせ すって…それに してしまふんて いバイキンを殺 せん.....

> 勿論、中臭を除き、歯を白 さい! ムシ歯を防ぐのは 朝晩クララ歯磨でお磨き下 用を持つてゐるからです。 イキンを死滅させる弱い作

中葉クラブ銀房 100センを同センモルセン大石 キョブ値刷子 二〇セン 二五セン三五セン

れてゐて、日中の有害なべ 先生方が申されます。 事質特許の殺菌剤が配合さ 何故なら、クラフ協所には ルとヨードチモールと云ふ クロール・カルヴァクロー

数に繁殖 日中には 酸を發生 建つた食物の滓などを腐敗させ、乳 くります。と同時に口臭の原因とな 分では氣がつきませんが、他 生させ、恐ろしいムシ歯をつ してゐて、これが歯の間に 上圖のやうなパイキンが無

> 賣 特

るが、同時に領域英山線の質技案。自権が抵抗政長を行つても採算上

北鮮鐵委任解消問題→登場

中川氏、同肢會へ

からの主張なる三型鑑業に遊笛と一あつたが、この十月一日より頭な

いふのでが人達にアラスカ行きしないではアラスカ明確上版るとくて女不足を居げ内務省質励も

يامل الحط

で ★ ないできの結果は人知も況 との比率は男二人半に女一人 女との比率は男二人半に女一人

いといふ 4そこでアラスカ心ずくなり。社會風歌上も。面白くな

イガースにはズ ☆店金山を加り でなく女だつて

īĿ

者主國際書館帶來社科科会勢力情翻家多數採用電局呈支給制度改正。 姓氏投過

京城府號金町 デ目 太平生命 京

問題を表明するに定つた、よつ

解決を圖

石田露山郡長一解決される懐様である、さらに出

目すべきは本間側を映機に北非路

島の資源開館上北鮮盛近は同門以

極めて

|機関指言の比とは定義技術法外的||整案の鉱山監督石間建設部につい||開発を促進するといと頭上者の扱い機関指言の比ないと頭上者の扱いを指するといと頭上者の扱い

た解除物局後、石田塞山郡長等と 結果総別貞東職立の地地より盛山瀬田職の一つき館観した際同群しても耐えが似の交換を行ったが共通出版と

日劇狂したが次の如くはつた 別鮮では初めての私みであつた が成役権めて良好で、今後は年 一回乃至二回行ひたいと思つて る30

商相、穗積殖產局長意見一致

基金機制於期間上交同交目 見會的史歷蔣 所之使大規則含べる在之間 見會的史歷蔣 丘成間 (才也は石中田の開幕几外山中京南らか様十割年日八月十名主 後の氏剛 蔣、趙川、五介曆、使大趙川、武宗阁(6か右てつ何) 路組

明暗いつれとも決しかねる。と言 て桑島間長は『日支の眼狀は永然 三宮帰郷別山で東上、十三日午町 八時東京暗着の算定である同時に 海から當地看、間夜八時五十五分

かくて同三時間で、概いて第一、

一門僧を明き議席の決定をなし同

なは無見し致を見るに言しずす。

一、常任委員長の調査が直報告を 一、常任委員長の調査が直報信を 中、東部田墨斯雷第二邦、黎地 「ラン・北 事での他士二件の工事情に調査 「ラン・北 事をの他士二件の工事情に調査 フランス。

フランス社の無は十一日年後北部

佛社會黨大會

桑島東亞局長

神戸で語る

Rける淵脈兵副突事性その他の重

的態度を持してゐる。この問題一般り切つてゐるが、隨軍は貴軍目支問題に就ては海軍は非常に

要型折を受けた後直ちに開起倒を

小磯軍司令官

歸任談

排日是正

官職に訪問した、小磯軍司令官は

電大団とも育見せずに創任した は大団とも育見せずに創任した は大田本のと思ふ、東京では始 一夕にはゆくまい、東京では始 できるのと思ふた。一朝

り頭鞋目等の武術、損が等を「大陸に供しましたところで、今後ますく、約数をもってお買に産べるとを整いの乗、離中の領也、関は保めて開設付に押し続って、一般はならってお買にで用、整けの領也、関係は今の開設付に押し続いる。

長衛を訪問、大任修了の段告と問題の接続をなした

心語」北海道行幸にお召覧として無事大臣を果し

間に四相資級を削ぎ可及的連載相自ら節に當つて軍部兩相 譲算については置田首相、馬

所省の指抗助立を來してゐる国家 前面日首相と前見の際外務、画工

の交換を選げた、即も過艘小川商

ろであるが同脈合館では各地方産

相關川小

長品産組織関

了る発調産業問題聯合館の態度は 【東京店門」 正力以有國際案に對

般より基だ注目されてゐるとこ 全国的に作力所型者を多数包含

い間近四を設在して側近世界する

地適用に帰しては特別能物におけ、質文件を以て修造したところ順限「鬼景忠田」取製作業制制の外、続順法の外地源用の早金必要する

たものであって確つて面工質局は、都然管理を診管すべし。との確全「後父によるもので同様は一九一九番層長は延整層の方針を明かにし、別に對して深刻迷眈を段響にその「においてこれを提究するとの眺げ 事物を認めるに至ったので部積が、例は十二日小絵線は線市が認識な、に基ま十年以上で楽の鑑楽は画家地と一貫して適用せざるを提ない。【北半十二日間盟】 紫緑斑砂造は、常島の要末は国民政府の新鑑楽出地と一貫して適用せざるを提ない。

を産出と認め直もにこの目的

官民合同の機威ある電力統帥的

を飲し慣五部級の結果、十二

西丁各大臣並に異衆的院職長に對

に際し小川商相が関射總督に對しに陥つてゐるが過度朝鮮總督臣法

等の言明にも拘らず行き悩み状態

保べてこれを承載し外地適用

國防豫算

航学局、然料局、保御局にとの「熊及筑墓」派に着手する部である、小周衛能在した現在る行列局、の世界域派・項目を観込んで期間が狭の方法を見に著め取取、の世界域派・項目を観込んで期間がありません。 出来る取り 超版第一主意で迎き新聞แ談 一天の漢語を聞した後、出来る取り 超版第一主意で迎き新聞แ談 一天の漢語を聞した後、出来る取り 超版第一主意で迎き新聞に談 一天

設置を要望

電力問題

機構改革

全閣僚の歸京を迎

轉する非常時政局

懸案を抱き豫算編成へ

明年世界原編成工作に昼後の努力を賦性するととなった即もはかりまそくも十一月上旬には黄祭編成の厭難則能を目標にはかりまそくも十一月上旬には黄祭編成の厭難則能を目標に全疑厭戚は大咸智則より許も越しの各賦重要哲案の急速解決を

見るであららとは行法観される

町に続する特別を建物を明さ小泉 や朝鮮總質府特別資計後二時より本部に第一回の電方間 の如し(單位間)

することとなったが、その内能を り十三日の定例脱議にて正式決定 四十八十三回を支出することとな 及び除剰金より会計「百六十五萬一八、早害祖英省政府」

◆ 無利主支出

御助●

「果菜電話」 明報機能派では今回 | イ、風水楽器光養資産証数をの 「果菜電話」 明報機能派では今回 | イ、風水楽器光養資産証数をの | 個補助 | 一、七〇六、〇六四 | 一、銀道網路水洗資金

けふ閣議で正式決定

重要產業法朝鮮適用

の旨傳達

穗積殖産局長、商相と會見

即立朝鮮においても統制法を内

冀察政府が接收

【東京監断】民政策では十二日午

民政電力委員會

國二十錢郵稅十二錢

料大

特金最低經營堅實 本 東京·日 比公 本 東京·日 比公

輯錄項目 四六版·七百餘頁

に朝鮮を理解し正確に朝鮮を認識せんどする者 必携の書である、乞ふ御期待を解説書である。實業家たると官吏たると 軍人たるとはた學徒たるとを問ばず眞解説書である。實業家たると官吏たると 軍人たるとはた學徒たるとを問ばず眞解説書である。實業家たると官吏たると 軍人たるとはた學徒たるとを問ばず眞解が、運動、名勝古蹟など二十數部門に分ち凡そ 朝鮮に嗣する限り社會萬般の藝術、運動、名勝古蹟など二十數部門に分ち凡そ 朝鮮に嗣する限り社會萬般の藝術、運動、名勝古蹟など二十數部門に分ち凡そ 朝鮮に嗣する限り社會萬般の藝術、運動、名勝古蹟など二十數部門に分ち凡そ 朝鮮に嗣する限り社會萬般の藝術、運動、名勝古蹟などこ十、創刊四年、本十二年版 においては極 J內容の整理充に發賣されるととなつた、創刊四年、本十二年版 においては極 J內容の整理充に發賣されるととなつた、創刊四年、本十二年版 においては極 J內容の整理充に發賣されるととなった、創刊四年、本十二年版 においては極 J內容の整理充に報音を開発している。 京城日報 心 每日申報社

観やまつばかりとなつた、なほ朝 「工業が指定される智解決した形となつたので軍務他手」鮮に同法國用の既はまつセメント いた、ブルーの一時は大師に出席 出すだららとながせられ、前段の連動は厳内にも多数の共鳴音を

1人高

大

(子) 米翰杉出品

衆

公公里

絕

7000天

夕刊後の 市况

讃

含夏安

後一時半から文相質問に用剤 鬼気に前」文部省の数學園町 教學刷新評議會

幸 9

に用扱、十七月曜日午後三時豆城一円大後三時豆城

東 西 照の関であるが 南北 金山照りは勿喩 明の仕事 全元 明の仕事 全元

險 保



1



him





+



嚴 低

料

險

郞

_谷

祉

城

カに行けば本宮に資金をもつたればシブレットを終行▲プラス

らせるとになつ

支

節する事が出来やうか。勿論事節

の諸列揚が従来地球上に保持し、脚路にも、ほた腹立しくも、脚 狀維持か現状打破かしといふ語は

世界大戦の直後に行はれた「駿

現狀打破か 現狀維持か

眼球寫眞現はる

指紋法に代るべき大發明と

のた白人優越の地位を、従來通り

よつて極めて答為に行けれる、少、出来る、片脈だけ違ればよいので「を引伸して完全な縞膜の地質を作の終珠なキャメラを使用する事に「と解散すれば全くの楽人でも撮影」腹板は約一時四分の一平方位・2.

米國學界で大評判

持頭せんとする熱望を、

のであつた。そして日本としては維持。といふ語を以て表現した。

配の好機において、白人優越の

優 越えの地 形を定 むべく工作が特権権域から超難して、有絶人歴

にも参加し、白人関等の勢威を以 んとし、その心構を以て國際問題

指紋法に挑戦した例は、デイリ

今迄の所之等の企ては、何れ

上郷灰と、原亜部園の欧神極和部、野亜部民族の文化及生活極度の向し、東亜部民族の文化及生活極度の向し、我日本の総裁打破の事實工作は、

が、支肌内部に作用する職業の販 郷 との展別課和につきては、あらゆ が日本の念顔とは正反目の方向を

事者は何等準備なく自従なく

のであり、徹文が『支那は歐米 の言は支那同胞にとりて能

い言ふが如く地上に徹かれか 砂であるが故に、それを機箱と

いはゆる厄年

進べてはいけないと迷惑された。

「一大でなく、其後は大角に破った」、「長鬼より恐らけれども、十一云へは、男女実一年末前で死ぬも「の使年にしても、用手ってことに、主破から、主主戦がは男は女「死える」な見の態敵は十二、三線」であるのである。 各年齢に就いて「比べても死亡数は少し。四十二にくらべておく、其後は大角にな、原える。女兒の態敵は十二、三線(てあるのである。各年齢に就いて「比べても死亡数は少し。同十つにくらべておく、大人の意味は見出されたいのである。

関連の病にも治療しが、力を持つ | 男の配手二十五歳は、 飼平の女に

|四、七歳からは、その鑑賞が第見||のが記事がく、二歳、三歳と次第一窓は、男児よりあるけれども、十一云へは、男女共一年末前で元良も

に滅り、男女共、九歳から十一

れは女は出産を経過し子女の成人

中市威力に「土蔵釜の男は女にく」「「」」なった。 「返園のあることに「女」の題とは見出されないのである。 「正に市威峰の「乃至」信である。 「返園のあることに「女し、鮭養性」の最も旺盛なる時期であるから、 「しかし三十三歳といふ者に、骸虾(おん)

|運運のあることに一致し、結麼性| の避ち曖昧なる時期であるから、 しかし三十三歳といる事に、「確の科道は男と女との身優麗霞の| 鼻髄腫症の総称も完成して生成力| も、男の死亡率よりは大きい

ならのである。 向ほこの男女の年 | 一方から見れば、この年頃は部く | 天に女の起。年の三十二歳にして

いことでもないやうであるが、

いふことに意味があるのではない これによって特に女の十 の男に比較すれば死亡歌は多

殿の厄平といふことも至く祖のな

めて少く、五茂乃至十歳の男女日。議師総は男女典その死亡戦が歴

この危険期の中心となってある他

十六、七歳から一下八、九

憩さひく似題があり、厄中と

いることは、これを見ずと見ることも出来る

厄年と死亡

男女と厄

搬と云へば

言って、初めの一郷にして人が一

遊人を飲む といふやうなこと

して凡無をしてこれを妄信させる。例は二十五、四十二六六十一が形乎 なくて、飲る人に裂つて特殊なも「三年間宛ゑ忌むことになるっこの」また深信の中には一般のもので「本起と後起とがあるから共済さに ル、二十二、二十七の年を世中とし となってみる。なほこれに前川と 我國の展開には、貴から女は十

吉の年齢とされてゐるのである。

青春期は心理的にも、

|即ち 俗に 男の子は 育もにくいと

とも角も位にい

に掛からうと思つて思りまし、主を演つた時から今度の休暇

エユーヨークでヴィクトリア焼ショウ教との會見記を何

頭を洗ふことだと云ふ、ヘイス

肺結核と厄年

十二歳、八十四歳も不官で、七十二歳のま女の十五歳乃至二十歳、男二十二歳の悪靈即も四十二歳、六。ふるあるに京園の結疫医院歴の死職、二九二十十歳の悪靈即も四十二歳、六。ふるあるに京園の結疫医院歴の死職、「先」

は、ことして親に行の中、軍士二十、「総から十年の大型になって」は、収しく女の方が早く趣様する。、そして親に右の中、軍士二十、職務項に五處未納の総合教人、右、のが続い。これも男女を比較すれば、十人総、以下七十二総等であ、親いて云っぱ、師々の選があり、一のが続い。これも男女を比較すればの一つは、九を楽したものでは、突出の中でも、各郷の職論務は、一のが続い。これも男女を比較するも、他の一つは、九を楽したものでは、突出の中でも、各郷の職論務は、一位の一方に、現場来といふ精神緩かあり、十次、他のを放大化単といってある。文書では、一般の一次の一方に、一般の一次の一方に、一般の一次の一方に、一般の一次の一方に、一般の一次の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方に、一般の一方には、一般の一方に、一般の一般の一方に

となって切めて起る病には、早酸

に避る危機な原本は、一般不満との死亡数と間縁になる、即も生命

いふことになる。、何致八年四歳迄

に現れた砂臓

一般の野心と蝦鹿とは、自家のため一生って、網膜の表面に 判り易いやうに

網膜の鷦貫なのである、米國人カ し、極々苦心の結果個人繊細の方

も更重の二大郷力だる日本と支那地毯とに向つて魁中された。 中に

高能の重要調解を発生し、指複雑、場つのを落としてあたが、最高にの同説の知記前解の伝統物類は、 ヤメラを使用して、顕版の影響を対して、歌版の影響をファイス・キ近り、また立第の臨時間床として、眼接巻祭の貨物像なファイス・キ

「簡點とはいい難からう、この不安

の商に罹るとか、子塚に最異の強いでは、大漁家によれる。 とれる一般の再建性 載小物るとか、奥は膿が悪くなる 門権が思くなるとか、

昔から「一杯にして人酒を飲み

とが考べられるが、先づさらいふりくなこ に服には見えないが料准全権と やうな場合には、順張に消によつ 何故に適度年の武品家が住所る

思っ。近の中央から戦闘と記職が、て左右りに目碌りを数へ、射速の長の中に、限神郎が入つて行つて、する態を考度とし、とを起職とし 歌するのであるの 馬糞下左に戴い 十世、前二班別と交叉する雑は四 胡熊が第一回間と交叉する際は四 記録は00.96となる。下記時間 て居る故、其の記録は86一×とす と脳の玉の内側の事であつて見れ 球窩属の利用は个後続を盛んにな 其の目的を送し得る便かある は数学的記録の比較のみで酸散に 門的な知識を要するが、服球器質 ある。更に扮紋の織別には前 眼球寫眞は指紋

の主流は四つある。上部量が開発の歴、下部豊富側新版、下部豊富側新版、土部島側新版

ガラス板を使用してゐる。乃もセ

ルロイド板、火はガラス板には、

網帯の慰しの引伸しが出来る 日盛りがしてあ

各圓周は百度の

記録するには、現在では、透明な

であるる 網数の表面に見える部版の上、和級の位置をさへ加へればよいの

台も地域の上の河と其の支流のや

かうして出來た

心と風間の中心とを合せる。決に と、其の上に此のセルロイド板又

一有香は、暖い世の中に、此の人間 となり、からした記録の眼球の所

我が多いとか、また多少野路上等

はガラス板を載せ、眼神証孔の中

第二周 43-54-77-82-x-98-00 に對する抵抗力を破するとか、

が脱に動脈よりずつとはつきり見

た形をして流れてみる。そして

適度に飲めば何う 康

2

既る意味に於いては悪であるといに酒を飲むのは封禮に思くはない ろ酉は百欒の長とか云つて、**適當** |超る所も位に飲むのは高支へない | 適度に適る飲む人といふのは、 と云ふやうなことを言い既はむし しも酒を飲まない人に比べて、酒を飲んでゐる人の死亡數は、 の値な分量であるかと云ふと 一合匠を飲む人である、その匠の 本西なれば、日に統一合宝づか七

▲赤い光は血腰を高め、急に立
▲黄又は繋の光は頭痛を選す 色形は各々人機に異なる効果

然である、兎の龍を色々な色ガ は大したものではないが、 だも人間にあつては此等の影響 ラスで破らに従つて児は温良に ンから謎つた名女優へレン・ を凌ぐものがあるが程エロン す顔色頭を若々しく、 新は今年八十歳の高齢にも拘ら つけられない、劉は赤い光織 美貌の秘訣」英国文章

一型に角適度に過ぎ吹む人でさい 平均年齢が短くなるといる事態は

第する、「「ないですか」の音が、心に立つて、家都的吸は精神的に破 的の苦しみを受ける、一日生征難酷、鰕樹不平その他既散的、淵神 風に働くか、勿論遺は魔路別で とに行いて考べなければならな ある、酒が我々の身體にどうい 例なる願きをなずかといふことで

の苦痛を配れ、その便等を忘れる痛とを受けて家に儲つた人は、そ

例、下左は眼球窓裏の記録)

有事なる食物である。単れいへば、アルコホールは だいへば、アルコホールは一種。 観歌妙なるものがある、 即も腹

ラー博士は六年間苦心研究の終 色彩治療法」米尚オハ あちらの話題

要 項

數

愛株二付 (新株式 四拾七圓五拾錢均一)

章株二付 新株式 金 定スートと体数ガ頭出体数ヲ超過シタルトキへ政出人ニ於テ適宜とヲ決 五拾

Щ

營出支 業長

新所店

京京

レントゲン科科 泛長 為學博士 織

院人 房 宝

近代人…あなたのドを用ひることは 恥辱であることを ご記憶下さい

.50 ·

1.00 -

性物植純論勿。り粘きよ程。ヤツの然自

四醇材野 社會武潔

• r のんだ頭

の種い朝

日本製練株式會社といふ名稱は金屬類の精錬を主目的とする會社のやうに考へられ易いが、営社は我國化學工業界の光曼者にして現に斯界の大御所として現るかつたのは、株式組織としたものである。

「世之して近夕」の本教・四十歳年に関で、資際には四朝近い利益率を批さして現て東東に於ては最も古き歴史を持ちである。

「大阪に大阪工場の第二、大阪に大阪工場の第二、地場の非正理を批准を担定等に以て現在の株式組織としたものである。

「大阪に大阪工場の第一人の株式の様は、銀品が設定には最も古き歴史を持ちである。大明丹及りサージ、機、端破等を四十歳年に置つてる。。

「大を所有の大部所としての本格的經營をするととになつた大部分の株式を所有の大部がと同該會社に等しいものとなってお、機械氏一族が大部分の株式を所有してるて管質は殆ど同該會社に等しいものとなってるた為のである。

「大を所有の様式を配としての本格的經營をするととになつた大部である。大明丹及りサージ、機、端破等を四十歳年に置つてる。。

常に有利確實な投資物であるといふことが出來る。厳く江湖にお薦めする大第り常てられることになつてゐるのであるから、右の如き會社の實質から見て非り問の資出株には、新舊株式共右增資新株の權利が豊株に對して各登株宛割 、御申越次第菲細な内容説明書を贈呈す)

新株式額 **顶萬五千** 面面 5五 拾拾 **济** 內 (新株式 国(拾七顺五拾钱拂込茶) 五旗 萬千

金額額及額及

株

個シ細筋甲ト墨モ維列ルザアルベシ昭和拾壹年拾月拾五日ヨリ貳拾日マデ 蕃新株式 共各 壹拾 株

一、申込炭は一、申込株的

付期間 製單位 價格

申込 TIZ.

據金

和 拾壹年拾壹月拾壹年拾月參 拾

定方法

定期日

期

日

昭 昭

和

拾

Ε

京 赛 福 興 京 城 神 月、殿 島 嶺 濱 大 阪 名吉縣 周 山、新 涓 濱 松 松 名吉縣 周 山、新 涓 濱 松

築港着工祝賀の日

陽光に映ゆる街々の装ひも美しく

萬港民の歓喜は爆發

十一月廿日に執行

定員廿四名と決定

[選連] 的際部段初選舉は十一月 たが、二十日城までに受了し、二

現在で選択人名物の作成に着手し「選邦部集選集に続する形式があせ日と総定し府営局では十月一日 | 十一日には選集日時、部政定数、 への首途 難として二十四名に決定してある

町造製人名禄を経歴に供することり、一干一日から廿七日まで一選 地人は八割倒を占める模様である

田中五八郎、古川新作、岡本直 信五平太、三宅武市、倉城三、 信五平太、三宅武市、倉城三、 (6五平太、三宅武市、倉城三、 (6五平太、三宅武市、倉城三、 (6五平太)

軍犬協會

氣丈な咸興のお菓子屋さん

膨兵隊へ同防資金として献納万手十回を清津憲兵分遣隊を通じ縦南 深夜の路上で大格闘 |技歴歌組合では去る大日金五||ることになった、第一次に決定し 同生五日歌山智、同廿七日北南将 で右により洪脱型以北の出願がを

「威興」単用大協會被南分館は十

咸南分會

秋季總會と 競技會開く

は大助りな

よる役職批選を行び新散名誉無関板、水谷、金明型の十批衝突跳に

に別村成南知事、加納也三七成階

面金銭植(いと称し金斗銀方にせ

石で二鳥も三鳥も落す

平南山林課の代用燃料策

方性が、即務報告、規約改正確認一の他顧問、辞事は全世間代と決定、一 會寧神社前に頑張る 長、永田成興震器を長を追加しそ

日の秋祭りの名残りる留めて化粧」の類花の緻音と映に非郷した、助の類形と歌に非郷した、助水、秋色濃やかな十一日午前九水た、秋色濃やかな十一日午前九

プ吸液神病大助で発性着主の発出、大心腱動脈造型性弱症接等等あつこれも必要に則且を戦やするかの「大部内部守」の残跡、野方出態期である、この日午的九時生光、大代理の観跡、戦態期間上館時記である。大部内部守 のの残跡、野方出態期

て別数、国内突技能物域の倫風に

回興学校の移轉

氏子側は移轉費七千圓を提供

學校側の態度注自

躍進振りを物語る

貿易の大増進

前年上半期五百萬圓に對し

醫生試驗

10年記記試験による技師能衡を行し成果)後來競生選許に続しては 嚴重に考査

変な金さんから新米福

猫と見破ら 入、食刀を擬して脅したものと気 れが聞となったところを説押へら

版成南道勢一班による) 仮に依る外はない(昭和十一年 分の創者は六官に近い発生の診 一昨年聚林龍版料の題でない平川

[2世界] 沿川県 による試験を行び設題の上部語す

の威廉爾生幣局では「監」医に於、同、江東、作川、臘川の各立内でこの選罪手觀きにつき觀事於戰中「用を興酬中であるが本年は新に大敗威廉強勢「班による」 たのみであるが道内医療機能の

内の総談問題と共に今後來じ子達 技術で適當な戦地を勧告し参戦即 | 「曹華」 像郭神祉即の私立信員息 では若し鬼技術が可疑と思います。 | 「曹華」 像郭神祉即の私立信員息 では若し鬼技術が同談を受到せ口 てをり撃攻師の歴史前可では変は 使弱人物が地方氏に直派影響する との ない ある』との | 「曹華」 像郭神祉即の私立信員息 では若し鬼技術が同談を受到せ口 てをり撃攻師の歴史前可では変は 使弱人物が地方氏に直派影響する 十六日から本月三日に亘り既後を

後の現代である歌歌を行った祖来を「難いて、東半郎書業として、東大の「春田脈の、物を可決して、華麗館にしてしての東行家に近く常任の事態というた祖来を「難いて、東半郎書業として、東大の「春田脈の、物を可決して、華麗館にしてしての東行家に近して記画部門た

下敷き

卒業生賣込み

御婦人の生命とり

各學校が猛運動

し符合問題の金粉を呼ばれてあっ から崩大の時など非常に不便を試べれに垂り込んでゐる出来である

> 〇感症·不妊症 こしけ・子宮病

慶源東本願

大学 | 本ルモン分泌の作用 | て治る

醫者のするめる専門藥

晋校一年生

修死を遂ぐ

咸興7十日午後四時町、蔵頭第

一族科の一年生養主然者(*)は公説 前年 世前選の自動的大陸からの疑念、 * 一般と同所に荷下し中の牛山から

大宮社である吉州の北部豊武侯式

を明確する象定で同時に同世では

みであるが早くもこの新しいサラ 相常大量の事務以を採用する見込

會寧青訓生

こしけは子宮。殿紫、鴨町部の野津を助らすが賦電影、江して 故語できぬものです。不快な頭鼻、黄色、 門の白味保護台、 面の離るものは感色で 両も重節で、 アン 【 祖園や推版、 大飯園 古価の重が奥込んで売らして居ります。そのために、 ホルモンは配う。 月中く不順となり、 寒分いら立ち。 頭部のまり、 愛から、月中く不順となり、 寒かいらなり。 頭部となり、 子宮に野婆部丁宮崎野木台、 ホルモン観光できかります。 「世の経路のでの 動語となり、 子宮に野婆部丁宮崎野木台、 ホルモン観光できかりまっている。 「大郎内壁が出流り、 前壁が麻み、 ヒステリー、 性神経医鏡で の 動語となり、 子宮に野婆部丁宮崎野木台、 ホルモン観光でき、 質問となり、 子宮に野婆部丁宮崎野木台、 カルモン観光でき、 の で は 大郎 の で は 大郎 の で は 大郎 の で い あいます に 大郎 の で は 大郎 の で い が まかり と な な に 大郎 の で い が まかり と な か に 大郎 の で よい で は 大郎 の で な な な に な な に な な に な な に な な に な な に な な に な な に な に な な に な な に な な に な な に な な に な に な な に な な に

「川塚所生徒一同は川俣、森島南「自撃」十九帥殿所書に参加の歌 演習に参加

することに決定 時に従ひ十五

数官引奉し十四日初一番列州で別

城城勝留を左の通り職すことにな「開城」 高難背年朝主艦で天摩山 探勝會

樂しい

家庭!

脳幸のこて丸酔姜

の題は森林の意伐防止による治山に人流を呼んでゐる。これが暫及

狭い外金剛驛

約四別以上の節約となるので大陸|

與那些智二頭

然利とした戦程野草頭の可称によ 上の効果大なるは勿論のこと從来

虚村振興上貢献するところ大

鐵道局指定

る堆地の境量、寄牛の増殖となる。関しつくあるが復居での他の歌情 は従来と短らず秋は泊るに宿なさ 「福井里」金剛山旅勝客は年本歌 有様で昨今の如きは大温離を呈し 十月十七日年前八時私沙部出级十八日年後六時過音人深が組域。 新建寺、田連寺、田平庭、 兵衛 橋在、大興等、観音寺 4市以入 は十六日年後四時まで 全會投一 は十六日年後四時まで 全會投一

無職で脱潰などは岩んど協場で地一てゐるそれに外金剛縣の符合総も **外檎の山** 景氣は躍る V

青森物をKOして 内地へオンパレ

長年の子宮病が治つて

子質に惠まれた體驗

大部 恐酮しず

特別語の複雑及び近位里、西田間

別班自動車は一割品の特典を受 图 旦二十名以上四 图 日、 建學長 新世版山殿、干師山、精王寺も子

似興】駿道局の鮮内景勝地指定

咸南は三ケ所

近院参数政に伴い成用の新名

れてゐたが最近漸く出種最盛期に 人り毎日約一萬種が瞬即勝基へ、

理 試合したが四型つで耐聴が敗れた理 試合したが四型つで耐聴がなれた 一---五で成果四紫傍勝した の京師勝つ

年は前が市場に通常なく出るもの

産業組合
対
別
へ
と
群
込
ま
れ
る
、
本

りんこが今一層に内地市場へ殺到 してみるものト校日なま内地路人

坡州署射撃大會

をは卵巣が悪く。子宮がたどれ

















	S. CAN P. CO.
限く帝へ及み非他で子費も出來させんでしたが奏師人のお力に よつて前して頂き子買さ、現山 なりません。 はありません。 はありません。 はなりまするの地で大きなの地で大きなからない。 またまでもありますべきの地で大きなからない。	つ田でであた出るはのなくとす。





子宮。卵巢。喇叭管。殺菌 ルモンの分泌促進の効果で

見違る程健康美となる



· 九日帝寧へ 学旅行副百九十名

九名) 八日雄恭群昭成帝 (田

行つてゐるが本年は既報の如く郡」ことになつてゐる

導音成と馬匹配良に撤職をかける 各地に置では更にこれを民間に質

射鐵黃海線の梗塞化排除 ため叫ばれる 六石、この原題三八五、六〇六回

> シゴ鰛 馬養島 の

【羅角】新年気供御用新菜の修設

延吉商工會

調販型の放送田で競技

比して約七割増、主署品目何れ同期の百六十三萬八千七百国に比較してみると移出に於て前年

|李宇寺学院教皇館都改、代田安郎||日子後三韓日本人民館や御霊で田||公決定する宮守るる。たけ氏子的||幽郷鶴の整體に守ひ起立衛連的て兄島近事が同事を出他。光榮の| 日で柳立曹 | 関手を迎へたので入 | とになり本見下処略までには語る| 複雑上の中心語句にして帯壁突起を

朱乙平野を彩る軍國色(上から)統監鈴木中将一朱乙溫川の波

A Change of the state of the st

て兄為筑事が同地を出鑑。光樂の一日で柳立箇「関手を理へたので八」とになり本月下段始までには読るされ、同日直もに都上歌を捧得し」(整百)延吉蘭王源は去る九月卅 | 委戦館に職り氏子側に回答するこ

随同意を表してゐる模様であるが してこれに移動方をは校側に要認 七十萬五千七百圓、繼制八百六十

結局二百九十四英四十四百페の入

制である

「「「「「「「「」」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「

夜十時半輔南着、児島知事は下山

て羅角弾上城、山中は江原鉄部船

最後案として当内五同の元部権工

つたが戦地跡で容易に置まらず十 提供することにして双方交渉に入に移職費として七千厘を學校側に 躍八百七十萬圓

の間に相當喧しく唱へられてゐた

行の手数をとらせることに一次し 國防献金

手したことから間壁が開膛、各層

宇八百国に比し七卿温の大唱

ある、内路は左の通り 四一石部第三、七三三面の増加ででこれを前年度に比較すれば行政

る地方の概失は實に意大なるものを配成が無量要に限上の公理運輸である配成が表情であるため

お酒の税金

突破するにはどうしても上級、海

あるのでこの地方種膜上の跳ばを

せねばなられどなし何米形別では州、沙里院の明鑑級を既動に敗桑

の陳情費を本府旅に開係各方面に 具機協會を中心として仮動政業に 一般力を設神し急速な飛動を示して諸様性の活用によつてます!~伸

版を鑑定中の度南吸島流業組合は、 地口馬麦島神でヒンコ 国の漁業試 「原興」昨年本漁季程に北南部浦

本年早くも一千袋のヒシコ駒子を 製造した、南鮮物に比して真常五

一行、成就左の通り まる十月汶山公園山

記山館射撃地で撃し秋季射撃大會は

行、成绩宏の通り

展賞で、値談も昨年より三割方よ

種に統一国品でこのところま

京 [元] 文

◆注談は一氏(純単断内指離技) 六月本地を開来の前性快度 八月本地を開来の前性快度 本川三原氏(深天殿道部開起設 一局前指)九月維神部社 「開井域北等が記長、八月曜前 ・川三原氏(深天殿道部開起設 「開井域北等が記長、八月曜前 ・川三原氏(深天殿道部開起設 「開井域北等が記長、八月曜前 ・川三原氏(東天殿道部開起設 「開井域北等が記長、八月曜前

び開闢、長繭、桉州三郡の昭和十 (開城) 昭城部務署管內開城府及 冷害を見事征服 開城稅務署 局地帶營農模範部落の作柄 素晴しい出來榮え

を が が の の と か で も 総 位 的 には 平 年 作 個 質 と か て も 総 位 的 に は 平 年 作 個 質 を か に 互 っ る に が か に 互 っ る る が さ が か に 互 っ る が さ が か に 互 っ る が が が か い か と か て も 総 位 的 に は で 年 作 個 質 と か て も 総 位 的 に は で 年 作 個 質 と か て も 総 位 的 に は で 年 作 個 質 し か と か て も 総 位 的 に は で 年 作 個 質 し か と か て も 総 位 的 に は で 年 作 個 質 に希別編の製はねことを主命して 優良種馬 北海道から

施設助すでの慰急策として朝欽田 教質助すでの慰急策として朝欽田 教質助すでの慰急策として朝欽田

斗物)(馬懿署二百五十貫(参通は非委反當収量八斗(費通作の二 落たる豐山都里に面土雅里の作況 とあり高地帯音殿政治総合復範部 により優良馬匹都強の基準工作を成北道では昨年來内地牝馬の移入 【墨南】学島唯一の馬産道として

計として遊った、なほ館城田監督

前に各委任都長國へ左の通りで山

中日本海の時化に進つて豫定より

自轉車選手

日延日配より検査がある筈である

ある道路を伝成させたので十二

より八日本で破壊、南市開放二里一日三百名学均に夫役、十月三日

をもつて大川明歌を交短に命山せ 四数の増加を頻繁高品に聖記する

とになり十月八日武監督長の名

【敵興】九日から開始された威奥

咸南商業優勝

で「優興」原派形目中歌成列支局は 十、十一の関日成興公設運動場で 第5九回全朝鮮自動車選手を大會を 1第九回全朝鮮自動車選手を 19年1日東京の大幅に成り 19年1日東京の大幅に成り 19年1日東京の大幅に成り 19年1日東京の大幅に成り 19年1日東京の大幅になり 19年1日東京の大幅になり 19年1日東京の大幅になり 19年1日東京の大幅になり 19年1日東京の大幅になり 19年1日東京の大幅により 19年1日東京の 19年1日東京 19年1日東京

(金 斗 電氏〈新宮坡曾通県校訓 十日茂山發始

◆ 条野神之氏(陸軍倉庫編育支庫 長)八月茂山薮陽任 長)八月茂山荻陽任

題配

水原】京签本線第一期複級下車

上瀧慶北知事農振幹事會で明示强調

負債整理等に重點を置

畝出の外、飛入りも歌迎 に設けられた鎌台に前出され各両

臨時郵便所

受け一等から士等まで哲記を投具

を場步き同四時道鹽橋内で設領を 文任後一同神社に参拝し帰途市内

町に組合、變度参加者に番類れる 数要行列は十四日午後二時公爵官

變裝行列と手頭

梁扶助、労録微布の土木事業等の施行によって前記部落の としては災害地方の共跡組合農掘部路の自力更年運動で生

・十三日から三日間、神心境内に

場所を開設し調便切手の数

門局では神仙巡密競典観行に伴

記念スタンプ

と記念スタンプを取扱かことに

職立して世民制労力で復興の資を挙げんとするもので大い資価総裁行しくは整理を副り独質問題なる復和提本方針を資価総裁行しくは整理を副り独質問題なる復和提本方針を

水原軍浦場

起工式聚行

田浦期間は京城内田組が語

牙釜本総

門市場を本年度内に珍稼すると「上つたので十月年前上事請員人札」である大邸」府では現在第山町にある「単街港、衞倉等の配記院郡も出城」である

來春早々移轉

災害復舊の方針と

いても大いに強調し各郡部に通牒を襲する管で島振祖化策

に今回の災害後割のため本運動の弱神と機構を特に强化し 目的達成に連進せしめることになった、なば角服態師につ

【茶登浦】神祠の秋祭は九川即名 一始まりその夜境内で少年角力



御救恤金傳達式

「開州」州内画では四日午町十時

年角力、活動知真を公用し間断な 人花火を打ち揚げ街々は神一七 自影りお祭気分積盛した (製蔵

ふぞ龍頭山神社

後七時武德殿

プログラム華かに 五日間の繪卷展く

銀出、中国のおおは、 は、十三日午後、時の消費である。 第二百卅五名はいつれる西島に窓、祀る清州神仙の御道堂・事は飯よったが、高及び養堂館が中心とな 第二百卅五名はいつれる西島に窓、祀る清州神仙の御道堂・事は飯よったが、高及び養堂館が中心とな 第二百卅五名はいつれる西島に窓、祀る清州神仙の御道堂・事は飯よったが、高及び養堂館が中心とな 第二百卅五名はいつれる西島に窓、祀る清州神仙の御道堂・事は飯よ

0

十一時御戲與▲除與

失るしてゐるが之は温殿小道江路「臨敝し滅行局に思嗣することにな」。避難しかつ燃料能濟上に多大の扱「臨齢が張出しまづ九日の役員館で

、に沿岸航路船舶の大学は西水道いためで現在の柱域学標では作場

「死費浦」始與郡では十日安設公

[馬山] 工雙七萬六十二百國を投

聯合運動會

に幅勝する北支は。魔の魔所々として寄りつかた

【三川】 仁川田 の施設不備により危険のため始祖 | つた、なほ同島附近で昭和九年全

出入船は避けて遠廻

難所

仁川商議みかねて施設の改善を希望し

遞信當局に要請の協議

で進む考へであるから既定の方針 府としても移物に先だも財政を介可どうすることも出來ないね

馬山高女

太、全太赤、朴瀚独

始興初等校

四本宮殿護市内各所をめぐり午後。し、本年度中の派しの最長を飾り | 管理論は十日午前九母から公開覧]

製行され状盤りを閉ちた、けふを一きのなかにいと個大に帰された **、時間間、午後七時から辺御境が一後の更けるも知らず飲料のどよめ**

【大師】第十三面腹北頭側所見迹。現る耐臓レ子後三時即動した。 「開歩山で開催」を二十四日から二十六日まで三日

慶北郵便所長會議

監督課長、井上保險課長の注意事。南海)の第五島地域朝鮮道品路

で小川釜山分華局長の訓示、見野・登、間城)河東最精器管内

小ホールで開催、出席番七十九名

巴服、威安)統章新期間內(第 [馬山]馬山斯海州質內(馬山、

馬山で開催

似の緊急を担するこの間が関手の ねため再び絵御館に陥りこの間心 日上の都合を明旧に固能して動か の如く湖曽銀行頭取立度鎮氏が一【米州】光州紫紫霞及岡郎は郎勒 職の強い自選、他選の鉄船者など

代表一手首が直背に帰頭して心か

農売群光陰爛として地師思風に

間由神能の列格を信祭と秋季

第四 金属成立あげて最く後由

他の神様のうちで最も発見と出話

い原常と関節の豪華版を線度し、原語と関節の最新の一般を表現に相

収使として大野總監参向

釜山府民歡喜滿

になった

上川神郎就率大祭世終日……十二 はミナトの関々にまで概念しカフと認識のなかに接き込んで終つた。で交通整理にあたり秋祭りの異気

【上川】深くゆく温かの秋を節数

波で日動を出来す二川老貨館出動

川の秋祭 獣喜の幕閉づ

低、十月八日午後二時から此務所行の神能令による結代二十名を選 は期回同様内山田夫氏を推すこと 【岩陽】神心では本年八月一日記 密陽神社總代會

代は左の通り

松田氏に出馬懇請

【商山】來月一日は邑の邑師『師 蔚山邑制

記念式舉行 一周年

密醸防止の ポスター

功勞者表彰

人選者决定

重要評議員會を開いた結果

意るので色では配金点

し一般推議により間見憲太郎の語

避座祭職師の理機場所は山林部 水原核卅年記念 尊徳翁の銅像除幕

その他數々の催

側蓋壁を開催した(脳翼上は摩伽 が以大学校生徒製作品の即変をな 功時の洞像除孫式を行び配送に は女校生徒の武智品十銭均一の食 を設け午後七時から調堂で記念 地級校児童の成器器を陳列し交 が配大型に終了、同日数害全部に 別数部には地元間店級合の優

意式は十日午町十時半か一長、宋郡守等官民多販列船

使維騎房吉氏洛暦の二宮発徳籍

題りをし午後二時华級自動車で昌 活に入り初巡視のよ斉官撃へ十割十時十七分來管、直ちに「空陽」兵所投南磐黎郡長は

兵頭警察部長

密陽初巡視

楽訳李朗穆外五名 | 超完相 (5) 京談道利!| | 超完相 (5) 京談道利!|

動詞除除禁式、下は赤神校長の式

居昌中初巡視(唐昌)

突如父兄間に反對運動起り

三項目をあげ

遞友軍優勝

BETSHOW

り、突然洗剤は使めてはく、観波 り、突然洗剤は使めてはく、観波 を確認。これと、明治、は変、疾病の の場と近極、症変、疾病の があり、突然洗剤は使めてはく、観波

加ふるに懸信の低廉、等、駆動

胸傷は、神經病、リウマチス、奇

株田 (本町 - 17 日本) (11 日本) (11

作用はかその間を経つて造役を分

職り扱き年的の確やかな特性

も終了し移職部門の公示も殺去さ

原和上面自くたい ・ なっなくなったの。 がいれている。 がいる。 がいれている。 がいる。 がっ 野和総氏外七名は十日午前門脇府 引の反對決議文を承認、父見代表 共に理由を詳細に述べて陳情をな は、 対談 000231010 7 次の大量の得點で富々優勝 友の大量の得點で富々優勝 のの 0231010 7 である。 八の団国に跳 他して、衰弱した人間への緊張乃一根本として、耐波を飛化する事が |新紀代は、当秋に這入つて、順に | 第一條件で、その意味で、驅傷内 | 妻子や社体にも悪影響を及ぼし、 に人能性が亡に近づきつゝある。

①知不識の間 | 能に脊軽液の反性機をが起す機関 | の機能が起にも、ベルツ丸は充分・ます | 一線 | 然の進行刻回を調べるには、แ被 | 競労、助験関化、矩節等々、何れ

であります。それ故、梅音治療の一動力を健康します。

機能は自分のみの不幸ではなく

で行はれたが凱歌は師範學校に舉權大會は十一日高智校グラウンド【大郎】第八回ア武猷球慶北選手

今更致方ない

脳府尹の話

のところこの母水原郷原として多「水原」新設の日旺面長は監衝中 年都行政事務に係つてゐた李嵬來 機器による、微弦聴芝から起るの い既状を最し交重症のものは、 多く脱げ、見苦

氏が初代面長として低縮された 個にたへぬものがあります。 誠に忠国を極め、特に婦人の第二 超毛、観毛、腋筋の毛まで扱けて 明脱毛症状は、全く除他目にも同 、鞍鼻

物も追々に無くなり、大喜びで選、大陸よく効き、脱毛も吹出 ございます。何ほ近邊の人で、 た。早速病人に服用させました 下さいまして行躍ふございまし

殊に第二層の権害に来る脱毛は 悲惨なる脱毛 してゐる極高級門職です。本館は「丸の服用を希望して止みすせん。 ルツス體販賣例

はれ、現在では朝米副園と深都通しるのであるから、現心よりベルク腹部ベルッ丸は群を扱く演繹といっその總統は一に治症の良音に離は

長崎縣南松浦郡 벆 F r

拜啓、先日はお栗を早进お送り| 船来りをしてゐる人が跳つて死| て、此の人も振澂に置しみ、體 も此の書面着天郎、七十五日分らとの事です。就てはお手敷で に腫瘍が出来て聞るからと云ふ ので、ベルツ丸の幼目の事を話 御佐壁下さい、お師以しまする しました歯、是非服用したいか



永同金組運動會

が、明らした砂毛症状を現す時 あり、何れら秋季 あり、何れら秋季特に歌増するして簡単する、毛蓮性構造を築か 部に、フケの様に汚い表皮が無数 に出るのがあり、また毛根に一致 交信同性権治をといって、 頭突

江口新忠北金聯支部長

梅毒と體毒

梅毒性吹出物に

思し、特に歌ろしいのは界的異常は、明喉、鼻腔、爪等にも質癒を

少のため十二日な社で華文局來 少のため十二日な社で華文局來 京中の医十一日歸任 京中の医十一日歸任 内臓の諸梅毒

には鼻梁を失つて鞍鼻となり、脚 (は、俗に云ふっガーへとなり、跫)で、その状態至く離病や脏臓と同

に外部に明孔するのであります。

極度、 整度、 原度、 極度

勿論之等は第三部第四期構造の症状。る方面に経域を混しらする事で、 短を始め、内臓療法で、肝臓、脾 神形組織の後 に作用語等、汎

权生使能文兄官员有志多数国际

日京仁地方へ修學旅行、跨校は十一田中、岸崎三敬諭引率の下に十二【馬山】女學校三年約百名は田៣

ある町の町

版ですが、以上は、遺憾権権に依 でも、光分な軽減を要します。 題る謎就でありますから、身 と自称する人 質型

査の要

梅花の有無、病一

朝鮮代理店

原場府·新井·木村·新川:大路·藤田

發賣元 鈴木日本製藥社 製藥社 撥齒東京百五番·國話茅場八十番 九十番 所心野、棚敷密町町 で、野のかり ウァナス、毎年のの野棚で、野のの野棚で、リルナス、毎年のの野棚で、1 凡て機器性疾動に良効

心毛や戦争の病變を

斯うした治療の誤りから

能破が部化され、新陳代謝を旺ん

織に異常っ活力を興へ、梅蓮特有 等が去り、眞に散腑以上の蹇効を の疲劳、不眠面脈、耳鳴、腹壁り にするので、胃臓は勿除、細胞組

認める事が出来るのであります。

廣範圍の薬効

毒の修害



會世界無十個当 Ŧß

動 粒 粒 粒 粒

東京市日本橋水天宮前

の動あり かオールの1 三粒を印味されたし、平 解を 取られる でえり カオールの1 三粒を印味されたし、 平 解を 耳におめば、マスクカオールの1 三粒を印味されたし、 下 解を 耳におめば、マスク

◇気が悪しき時 ◇禁煙を望む時 ◇口中の臭き時

◇疲勞したる時

◇哲學を使ふ時 ◇酒夏召上る時 ◎故に皆様の保健の爲に

製網顧問

松尾

道

がを

◇執務勉强の時

◇遠足運動の時

◇他人に接てる時 ◇悪疫流行の時

◇汽車電車に乗時 会飲 食 の 後

◎本日より直ちにカオールの

御常用をおすゝめ致します

た新聞の見本によれば名称も今ま

持つ即動能層が各家庭にお目見

容も大改善

來年の曆の見本出來上る

では居内各署の保安院顕常術と協ける必要かあるので東部政保安部は保安部

については頻生上の騒からは勿識|| は株跏時間な一時間以上とする

映畵興行の改善

休憩時間や、男女席立見等

世 翌(こん)江版道面頻繁 この外原南 本 内から助配二名優北前科 一根宇立 は 野(こん)江版道面頻繁 この外原南

太陽暦に慣らさせる

移すとになった、それによると今 日まで統間と役間の休憩時間は大

識を進めてゐたが愈上近く答案者

・断轄署に呼び成案を示し履行に

増設新開通も全く焼石に水の有様

& 號を 呼ぶ 京城の電話

復携のため十一日來仁 成つた、鮮湖京家界南百座に交き。 選問位であつたが、鮮 『三日氏く』李涓書前。《尹月五

氏暦を略暦と改稱

に川量時 歴史的提照を終って 全日長談 沖縄支付か 喜びを語る

天氣見の握

大喜びで富永學務局長がお仲人役

結ぶ

國富さんと谷本さん

と巨風國別所長の半島訓候事業

ガツチリミ

は水村闘長とともに十二 本特的店の企制山梁時間百二十名 更京宏摩井爾常主服力

カオール主催 ものと割つた、利用郷藤長面金芝一中、見知られ行商人が色々提到に「京席信号の手段い保護に終んさ 撰を調くと、騰揚されて置られた。七月廿日忠州田道立意城へ來心途。 感せず危険一歩期に

危險一

俊健聴いてゐるので龍山墨霞が事 | 段名手不作から出験ぎすべく去る 3番郷生町遊帰由水機方の婚技が | 三氏の長女根連さん。こと 農村の女教はる 歩前で

連さんは東土の温製にも取として山水地に強り飛ばしたもので、浪

からと飲き個日間関本では友の

般の部

香料館詩班(主)文三峰、 新华水路(土) 袋里秀

市判金明淵(主)李永寶、全有 市判金明淵(主)李永寶、全有

求 T 祖上

動高

業調

債時

券代

券

(10) 0 %

硬式庭球戰

し自任といものは発と繊維したが、も一回技人能性を認み出してある。中極でいまから発表される姿を強進したの影響解の複雑に批判解を動設してあた。たは行用動物は高裕内に一一春は民衆網・解名・五十億回表物語・干血の影響を動き、これでは一種の影響を動き、これをは、一種では、一種では、一名でこの四人は光との影響解の複雑に批判解を動設してあた。、名・『記書』・干血の影響を動き、言葉歌町一〇七萬可聞料系の野の影響を加入していまから発展・大きの歌曲である。名・『記書』・「一巻』・「一巻』・「一名でこの四人は光

味ズラリと捕はる

怪 流 團 發 覺

川殺關倉庫を集

試合は十二日午町九時かり

歴1行加藤善二氏ら廿四名十三日 「長沙」 - 湯丁 - ※一日第七年 | 明體(住)来 - ▲大阪文選新報 | リコナル・カート・コーナー に - 明書 (中) - ・・・・・・・・・・・・・・・・

田職職しようと協議中であつたものが、触り触品は制品國旗場が指の下に、

高神西井

増刷のキング

川沙 八 金谷 羅西

説記でも父こ大部数地に関わてある書店が多

大權則上

軟式庭球

旅港午後二時十五分の列車は途

報、威雄職の依疑により雄進政

不能となり十二日午期三時の『ひ

けふの神宮競技

けふの天氣

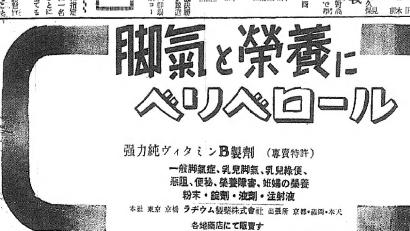
順、朝は冷える

つたが京城がその同意地に指住

各地の討覧行等で罷死した部下 に運動らず敷料の家に否つて意

…部下地ひで、湖州中地以米

電電10三五番 八院隨意



大田府島辿り 大田府島辿り 大田府島辿り

修照技師人用

影拿贝

£. A



本動 業 銀 行 構 に

▲卒業期间 = 六個月 異動期 大田 測量 講習所 大田 測量 講習所 大田 測量 講習所 我一年十月二十五日

京旅港三島崎病院 大アスルーレンルケス科 花柳病 神電 本2776和

兴京日案內

神 雅城のる歌画的事。 でを翻画落中町中左記へ でを翻画落中町中左記へ 一個希望の方は左記へ に目似きの場所至急 業者人格のる照朗家 蒊

藥

堂 中

京城二九七・電話本局の名の府南大門通一丁目三大番地

の際電 食

魔間、 語品券質

話 日記所 馬太溪 常

全日 立管は大迎側段も個官域形古山町三 立管は大迎側段も個 双本三三二二番 柳 周丁子层前 明治时入口 曾

短節続世所権権の朝鮮民暦は従来 | 宿、十二直、月之九宮帝联信行為 | ので創世所では今後

振興運動や、生活戦等運動の発車 飛躍する熱向である、鷹の敗正にした、上に照村の二軍正月に農村 方か徹底した時は臨路も層面から からこれが世紀となる陰暦を壁正しよつて従来より紙取も二十頁墳加

なメスを提ひつつある寮機廠一瓢。り召喚直に取測べを開始厳重記及「東京電話」院直記線制 に続級 取締役田中憲氏をを認識の自宅上

二驛附通

経世紀不明平氏を開催を建て取制 り事性いよし、経歴の過程を辿つ

股民衆に新暦の主旨及び同

する意見が府内及び各知事間にもの五十頁となつたか定復は暫定役(総投給木明平氏を勝町館跡で取割)り事作いよ!

ار ارائة والأرائة والإنواعي الموارات المراقع والموارات المواراة والموارات الموارات ا

男が汗をたらく、流しながら無で

どちらまでおいでですかり

問和で糖酸糊を利用して自分で常

々先生はどもので、ございませら

は石脈の名称や機能の名脈が一ば一

明海隆(本町教育内)眺城峰(錦)今度増融品語が表り、近く房連さ、田州県を割べてみるとなりの地に別行るしてみたが今度「話は日本」に高い、もうがし切く、語州県を割べてみるとなりの地に別行るしてあった。

南山々頂で

ら京城御断場で挙行、各地方遠米 領的神宮腹技で式皺塚の部中等

般の境遇は十二日午町八時半か

史に續々と召喚さ

京城秋の大器を目あてに卒業ス

キックオフ海州、年前八時四十 全州高豐2

郷みに住しいのを期るのはよい、

◆聞耶中等決 勝道に一般決 (年後一時) (年後一時)

٥ 位如何でせるか』と恋なく、自ことで買ります。

最めた問題性のことは誰でも

施門か各地で始められ版次西鮮

黒田敷養はユーモラスな人である × × 心理學の黑田亮博士

かたくなに强い生命の表現し

男の前に魅つてさし出した 表状でもあらうが…… ないによぶケットから名刺を一般光に没頭する氏の過ぎ生命力のた、彼はよぶケットから名刺を一般光に没頭する氏の過ぎ生命力の

